

実践キャリア・アップ戦略専門タスクフォース  
6次産業化人材ワーキング・グループ 第3回会合

# 国際対応型人材育成 「地域公共政策士」の背景とねらい

龍谷大学地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチセンター (LORC)  
センター長 法学部教授 (2011年度より政策学部教授)  
白石克孝

# 日本での課題意識

## 普通教育と職業教育に大学が如何に取り組むか

地域資源と人材能力の可視化のツールとしての地域資格

## 地域連携に大学が機関として如何に取り組むか

協働型の社会に

← 地域力の高まりと個々人の能力発展をリンク

大学が地域協働のパートナーの一員に

## 生涯教育型で再チャレンジ可能な社会の構築と大学のあり方

日本型資格フレームワーク（JNQF）の必要性

# 京都における地域公共人材大学連携事業とは

- ・ 京都府内の公共政策系の学部・大学院をもつ大学をはじめとして、自治体、NPO、経済団体などが連携し、京都における地域公共人材のための教育研修プログラムと地域資格認定制度を共同開発

## 大学・研究機関

京都橘大学、京都府立大学、同志社大学、佛教大学、立命館大学、龍谷大学、京都産業大学、京都文教大学

(財) 大学コンソーシアム京都

## 自治体

京都府、京都市、  
(財) 京都府市町村振興協会

## NPO

(特活) きょうとNPOセンター

(財) 京都市・景観まちづくりセンター

## 経済団体

京都商工会議所、  
(社) 京都経済同友会

# 海外調査から日本への提言のイメージ

## 京都府内で展開する教育・研修プログラムの構築

アメリカの民間機関による教育プログラム認証

英国での資格開発と授与の仕組み

EUの資格フレームワーク（EQF）への準拠

# アメリカの民間機関による教育プログラム認証

**NASPAAによって認証 (accredit) された  
大学院教育プログラム**

公共政策、公務全般、行政にかかる専門職教育プログラム

—— 修士課程に照応した専門学位資格

大学は認証された基準を満たしているか審査される

NASPAAに加盟している教育機関  
≠ 認証を受けている教育機関

教育の成果（アウトカム）重視の評価へ

# アメリカの民間機関認証による教育プログラム

## 大学院教育プログラムとして参照したもの

### 社会人と若手の2つのコース

学部卒や職業歴の短い大学院生のコース  
在職歴があり、多くは在職中の大学院生のコース

←地域公共政策士は2つのコースを同一コースとして開設

### 修了要件としてのワークショップ（キャップストーン）

大学が選んだ現場で実際にコンサル業務を実施  
3、4名あるは8～10名でチーム、共同論文とプレゼン

←地域公共政策士では質保証のコンテンツとして必修化

### 検定試験や免許ではなく履修プロセスの成果としての「資格」

←地域公共政策士の基本的資格フレームの基本



# 地域公共人材開発機構の設立

## 地域社会が資格の社会的認証をするための民間機関の設立

### (一般財団法人) 地域公共人材開発機構

産官学民それぞれのセクターの活動に共通する公共的要素に対応可能な人材の育成のための教育・研修システムを構築し、その修了者に対して一定の地域的資格を付与するための地域システムを、京都府内において設立しました。(機構HPより)

京都府内の産官学民により設置、運営  
(官からは基本金と理事・評議員は出ていません)

大学基準協会、日本公共政策学会、京都府外の大学からも参加

# 英国での資格旧フレームワーク

認証に関する2つの国の機関とフレームワーク (旧)  
普通教育と職業教育

## QAA (Quality Assurance Agency for Higher Education)

高等教育機関 (大学、大学カレッジ、高等教育カレッジ)

普通教育 (高等教育) と学位資格を提供

## QCA (Qualifications and Curriculum Authority)

初等・中等教育機関 & 社会人教育 (生涯教育) 機関・組織

職業教育と資格を提供

## 高等教育資格フレームワーク

(Framework for Higher Education Qualifications : FHEQ) 2001年導入

## 全国資格フレームワーク

(National Qualifications Framework : NQF) 2002年導入



# 英国での資格新フレームワーク

## 資格・クレジット・フレームワーク

(Qualifications and Credit Framework : QCF) 2011年より実施

レベル	FHEQ	QCF
8	博士 (Dレベル)	QCF 8
7	修士 (Mレベル)	QCF 7
6	学士 (Hレベル) ・学士 (Honor) ・大学院Certificate, ・大学院Diploma	QCF 6

アカデミックな資格と職能資格との互換性を確立していこう

## ユニット化とクレジット (時間単位) 化

レベルとユニットとクレジット数によって資格が構成

# 英国での資格開発と授与の仕組み

**全国職能基準** (National Occupational Standards : NOS)  
「**セクター技術カウンシル** (Sector Skills Council : SSC) 」  
「**基準設定団体** (Standard Setting Bodies : SSB) 」  
という2つのタイプの産業団体の代表が関与

**Ofqual**

政府監督機関

**授与団体** (awarding body)

資格の開発と授与に責任をもつ

**プロバイダー** (provider)

資格学習の提供

**学習記録** (Learning Records Service)

個人学習の記録管理データベース



# 英国での資格開発と授与の仕組み

## カリキュラムとしての特徴

### 学習のプロバイダー

大学が高等教育と職業教育の両方のプロバイダーになれる  
大学以外の様々な機関が職業教育のプロバイダーになれる

### カリキュラムのユニット化

資格授与団体が認証（award）したカリキュラムの一定の固まり  
いくつかのユニットを修了することで職能資格として取得可能に

### 大学のカリキュラムとの連携

大学自身がユニットを資格授与団体と共同開発して教育・研修できる  
クレジットやクオリフィケーションを大学が大学単位と互換できる

# EUの欧州資格フレームワーク（EQF）

## 欧州資格フレームワーク（European Qualification Framework）

### 普通教育と職業教育を1つの資格フレームで取り扱う

7つのレベルで資格教育区分

普通教育と職業教育を一体的に扱い、互換性を追求  
教育機関以外での職業教育をも普通教育と対照可能に

### 目標

アカデミックなトレーニング、職業的なトレーニング、自己実現とが同時に実現できる仕組みを  
人生のどの段階からでも学習ができ、新しいキャリアパスを開ける社会に

# 京都版EQFをめざして、地域資格認定制度

## 折衷したアイディアとしての地域資格認定制度

### 資格の授与と評価（国家資格ではなく社会的認証資格）

地域公共人材開発機構が英国の資格授与団体・米国のNASPPAの役割

### 職業教育のプロバイダー

大学が普通教育と職業教育の両方のプロバイダーに  
大学以外の様々な機関・組織が京都型職業教育のプロバイダーに

### カリキュラムのユニット化と履修証明制度

地域公共人材開発機構と資格プロバイダーが共同してユニットを開発  
大学が関与する場合は文科の履修証明制度として単位を付与可能に  
履修証明制度とリンクしたユニットの単位を大学が認める  
米国カリキュラムの参照：質確保のためのキャップストーン

### EQFに準拠した資格設計

ローカルな資格フレームをグローバルスタンダードに連結

# 地域公共政策士の資格スキーム

地域資格付与スキーム(案)

